

報道関係者各位

2023年12月26日

株式会社Ridge-i

株式会社バオバブ

リッジアイとバオバブ、AIとドローンを活用した ソーラーパネル外観検査サービス『Ridge Inspection for Solar Panel』を共同開発し、提供開始

～ワールドリンクが、ソーラーパネル異常検出サービス向けにトライアル採用～

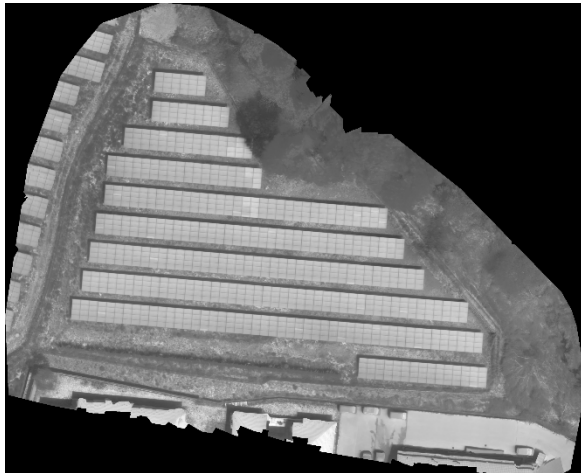
AI・ディープラーニング技術のコンサルティングと開発を行う株式会社Ridge-i（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳原 尚史、以下「リッジアイ」）と、AI学習データの作成サービスを提供する株式会社バオバブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：相良 美織、以下「バオバブ」）は、AIとドローンを活用したソーラーパネル外観検査サービス「Ridge Inspection for Solar Panel」を共同開発し、2024年1月16日より提供を開始します。

2012年に固定価格買取制度（FIT）が導入されて以降、加速度的に増えた太陽光パネルは、耐用年数の25～30年後に迎える「大量廃棄時代」にどう備えるかが大きな課題となっています。NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の推計では、太陽光パネルの排出見込量は、2020年に約3千トン、2030年に約3万トン、2039年に約80万トンと見込まれています。実際多くの事業者は、太陽光パネルの耐用年数を把握しておらず、発電量の減少に対応できていない現状があります。太陽光パネルの状態が精緻にわかることで、適切なメンテナンスが可能となり、太陽光パネルの寿命を延ばし廃棄を減らすことにつながります。

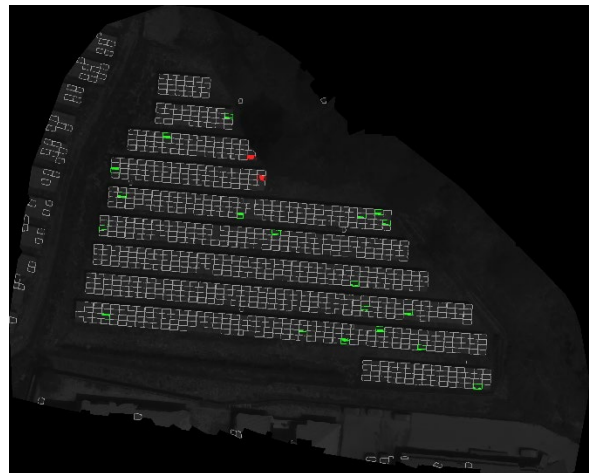
「Ridge Inspection for Solar Panel」では、ドローンで撮影した太陽光パネルの赤外オルソ画像（※）を利用して、ホットスポットと呼ばれるストリング異常、クラスタ異常、セル異常の疑いのある箇所をAIで検出します。解析結果オルソ画像は、モジュールを短形で描画し、異常の種類で色分けを行い、ホットスポットの位置・種類がわかる解析結果画像を出力します。人の目で確認・検知する場合と比べて、はるかに高精度な異常検出が可能となり、作業の効率化も図れます。

※オルソ画像：空中写真を真上から見たような傾きのない正しい大きさと位置に表示される画像に変換したもの

オルソ画像

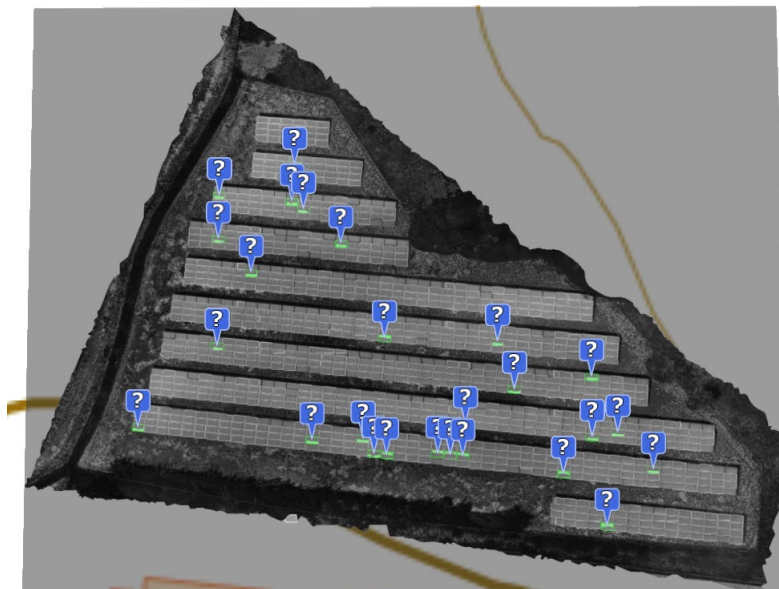


解析結果



(オルソ画像提供: WorldLink & Company)

「Ridge Inspection for Solar Panel」は、「SkyLink Japan」ブランドでドローン販売を展開する株式会社WorldLink & Company（本社：京都府京都市、代表取締役社長：須田 信也、以下「ワールドリンク」）で、先行導入されています。ワールドリンクは、2023年6月に、本サービスを活用したソーラーパネル異常検出サービスのトライアルを開始し、ワールドリンクのトライアル導入ケースでは、ワールドリンク社がドローンで取得したソーラーパネルの赤外オルソ画像を、リッジアイの外観検査システムにて解析し、その結果を、ワールドリンク社の地理情報プラットフォーム「4DLinkCloud」にて確認できるようにしました。



4 DLinkCloud上での解析結果の表示

このたび開発したAIモデルにより、様々な環境下で撮影した赤外オリソ画像から、実用性の評価・課題出しが可能になります。また、再生可能エネルギー業界のインフラ維持に様々な応用の可能性もあります。今後もリッジアイは、多様なデータに適用可能な最先端技術の研究開発により、持続可能な社会実現に向けて様々な課題解決に貢献していきます。

株式会社バオバブについて

バオバブは、創業以来 AI のための学習データ構築サービス事業を展開し、LLM（大規模言語モデル）向けのデータセット構築をはじめ、画像認識・対話シナリオ・マルチモーダル向けの多様なソリューションサービスを提供しています。プロジェクトにあたる「パートナー（Baopart）」を独自に育成し、緻密な業務フローと組織、システムで実現する高品質の学習データは、国内外の大学、学術機関、研究所等から高く評価されています。2023年には社会的・環境的課題の解決や新たなビジョンの実現と、持続的な経済成長を目指す企業として経済産業省からJ-Startup Impactの1社としても選定されました。

これからもバオバブは、社会・顧客の課題解決を担う高品質なAIモデルに欠かせない質の高い学習データを提供し、「誰もがその人らしくいることが受け入れられ、人生の選択肢が開かれている社会」を目指します。

会社名：株式会社バオバブ

設立：2010年7月

所在地：〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1新有楽町ビル11FPortalPoint

事業内容：AIのための学習データ作成サービス

代表者：代表取締役社長 相良美織

URL：<https://baobab-trees.com/>

株式会社Ridge-i（リッジアイ）について

リッジアイは、AI・ディープラーニング技術を活用したソリューションにより、経営・社会課題の解決に挑むテックイノベーションファームです。特に、画像解析ディープラーニング、センサーによる異常検知AI、最適化AIなど様々なデータに対応するAIを組み合わせた「マルチモーダルAI」に強みを持ちます。戦略策定から要件定義フェーズに始まり、現場のコンサルテーションから開発・運用保守まで、投資対効果を実感するまで一気通貫で伴走し、多くの実績をあげています。また社会課題にも積極的に取り組んでおり、SDGs課題と環境変化を衛星画像から発見する「GRASP EARTH」などで第4回、第5回宇宙開発利用大賞を連続受賞しました。今後とも技術とビジネスの高みを追求し、社会・顧客が持続的に効果を実感できる最高峰のソリューションを提供します。

会社名：株式会社Ridge-i

設立：2016年7月

所在地：東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル438

代表：代表取締役社長 柳原 尚史

資本金：10,000,000円

事業内容：

- ① AI・ディープラーニング技術のコンサルティングおよび開発
- ② 共同事業、ライセンス、保守モデル、自社開発等によるプロダクトの提供
- ③ 人工衛星データAI分析サービスの提供

URL：<https://ridge-i.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社Ridge-i豊吉、青江

e-mail：pr@ridge-i.com

共同ピーアール株式会社（広報代行）

担当／電話 本田 江代（070-4303-7350）、竹村 良子（080-8870-0347）、児玉 千尋（070-4303-7256）

e-mail：Ridge-i-pr@kyodo-pr.co.jp